



平成26年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所
三次河川国道事務所

【問い合わせ先】

鳥取河川国道事務所	(河川)副所長	川本 洋次郎	TEL 0857-22-8435(代)
	(道路)副所長	井上 和久	
倉吉河川国道事務所	(河川)副所長	横林 直樹	TEL 0858-26-6221(代)
	(道路)副所長	安野 聡	
日野川河川事務所	(技術)副所長	古南 弘史	TEL 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技術)副所長	佐々木 高雄	TEL 0859-42-3145(代)
出雲河川事務所	(技術)副所長	佐藤 敦司	TEL 0853-21-1850(代)
三次河川国道事務所	(技術)副所長	新宅 清人	TEL 0824-63-4121(代)

平成26年度 中国地方整備局（鳥取県内） 予算総括表

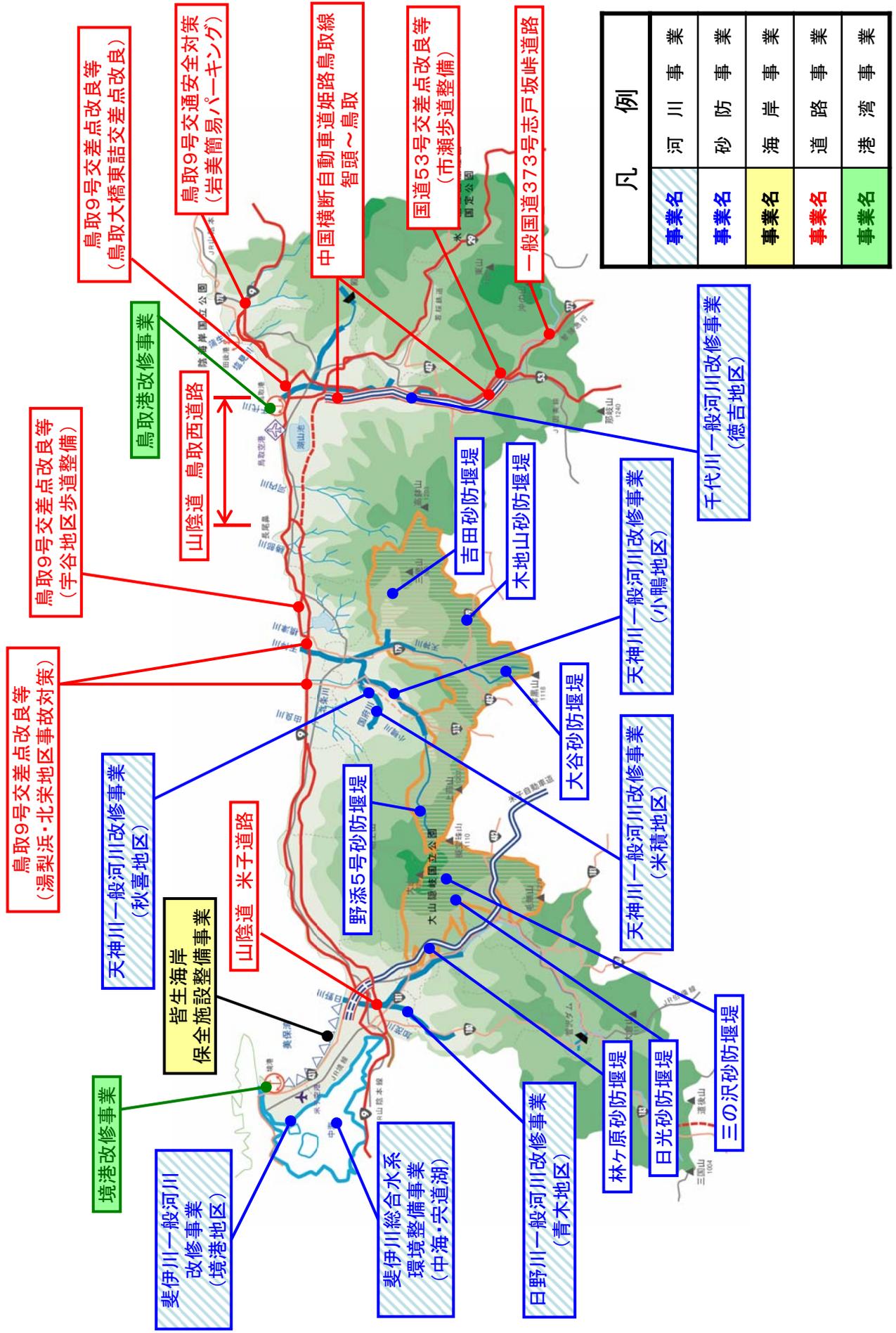
(単位：百万円)

事業部門	平成26年度 事業費							平成25年度 事業費	伸率 (a/b)	
	鳥取	倉吉	日野川	境	出雲	三次	計(a)	計(b)		
河川事業	改修	342	445	250	/	4,007	/	5,044	5,042	1.000
	環境整備	6	0	2	/	600	/	608	592	1.027
	応急対策	135	0	45	/	0	/	180	161	1.118
	小計	483	445	297	0	4,607	0	5,832	5,795	1.006
砂防事業	砂防	/	432	515	/	/	/	947	873	1.084
	小計	0	432	515	0	0	0	947	873	1.084
海岸事業	海岸	/	/	561	/	/	/	561	561	1.000
	小計	0	0	561	0	0	0	561	561	1.000
道路事業	改築	19,897	690	/	/	/	125	20,712	16,867	1.228
	交通安全	705	642	/	/	/	/	1,347	927	1.453
	電線共同溝	0	0	/	/	/	/	0	0	
	小計	20,602	1,332	0	0	0	125	22,059	17,794	1.240
港湾事業	鳥取港	/	/	/	190	/	/	190	478	0.397
	境港	/	/	/	1,590	/	/	1,590	1,514	1.050
小計	0	0	0	1,780	0	0	1,780	1,992	0.894	
総計(事務所計)	21,085	2,209	1,373	1,780	4,607	125	31,179	27,015	1.154	

(注意)

- (1) 計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。
- (2) 境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。
- (3) 出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県を含む。
- (4) 事業費には、調査費、業務取扱費・災害復旧費を含まない。
- (5) 上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、交安Ⅱ種、維持管理費等がある。

主要事業箇所【鳥取県】



凡 例	
事業名	河川事業
事業名	砂防事業
事業名	海岸事業
事業名	道路事業
事業名	港湾事業

平成26年度 中国地方整備局(鳥取県内) 事業の概要

1. 河川事業

(1) 改修

1) 千代川一般河川改修事業(徳吉地区) 【資料編 河-1(鳥取)】

鳥取市徳吉地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

平成26年度は、佐貫地先の河川内に堆積した土砂の撤去並びに、八日市地先の旧堤防の撤去を実施します。

2) 天神川一般河川改修事業(小鴨地区) 【資料編 河-2(倉吉)】

天神川支川小鴨川の中流部の当箇所は、河道の断面不足により流下能力が不足しており、また急流河川であるため、堤防の浸食の危険性が高く、流下能力の確保及び堤防の侵食対策が必要となっています。

平成26年度は、河道掘削及び侵食対策のための護岸工を推進します。

3) 天神川一般河川改修事業(秋喜地区) 【資料編 河-3(倉吉)】

倉吉市秋喜地区は、西倉吉工業地域をはじめとした資産・人口の集中する地域を背後地としていることから、堤防決壊に対する安全度確保の観点から浸食対策が必要となっています。

平成26年度は、侵食対策である護岸工を推進します。

4) 天神川一般河川改修事業(米積地区) 【資料編 河-4(倉吉)】

天神川支川国府川の中流部は、河道の断面不足により流下能力が不足していることから、築堤や横断工作物の撤去を含む河道掘削等の対策が必要となっています。

平成26年度は、築堤等に必要となる用地補償を実施します。

5) 日野川一般河川改修事業(青木地区) 【資料編 河-5(日野川)】

日野川支川法勝寺川の流下能力確保を図るため、平成23年度より米子市青木地区の改修工事に着手しており、26年度も引き続き背割堤等の工事を促進します。

6) 斐伊川一般河川改修事業(境港地区) 【資料編 河-6(出雲)】

中海において、近年高潮で浸水被害を受けている境港市渡地区において湖岸堤整備を実施します。

7)斐伊川総合水系環境整備事業(中海・宍道湖)^{なかうみ しんじこ} 【資料編 河一7(出雲)】

中海の水環境の改善を目指し、米子湾において覆砂を実施します。

(2)応急対策

1)千代川河川工作物関連応急対策事業 【資料編 河一8(鳥取)】

千代川直轄管理区間において、老朽化が著しい河川管理施設の改良を行います。
樋門の操作方式が手動式で、緊急時に確実な操作が行えないため、電動式の開閉装置に改良します。

2. 砂防事業

(1)天神川水系砂防

1)大谷砂防堰堤 【資料編 砂一1(倉吉)】

大谷砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川下大谷谷川に計画した砂防堰堤 (H=12.5m, L=59.0m) です。
平成26年度は堰堤本体右岸部及び鋼製スリットの工事を推進します。

2)吉田砂防堰堤 【資料編 砂一2(倉吉)】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤 (H=12.5m, L=81.5m) です。
平成26年度は、管理用道路及び付替道路に着手します。

3)野添5号砂防堰堤 【資料編 砂一3(倉吉)】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤 (H=14.5m, L=74.0m) です。
平成26年度は、管理用道路及び付替道路を推進します。

4)木地山砂防堰堤 【資料編 砂一4(倉吉)】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤 (H=11.5m, L=61.0m) です。
平成26年度は、砂防指定及び用地買収に着手します。

(2)大山山系(日野川水系)直轄火山砂防事業 【資料編 砂一5(日野川)】

解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂による災害から地域住民の生命と財産を守るため、引き続き整備率の向上を図ります。

1) 三の沢砂防堰堤

江府町大河原地内の小江尾川（こえびがわ）において、堰堤本体工事を促進します。

2) 林ヶ原（はやしがはら）砂防堰堤

伯耆町林ヶ原地内の清山川（せいやまがわ）において、堰堤本体工事を促進します。

3) 日光砂防堰堤

江府町日光地内の白水川（しらみがわ）において、堰堤本体工事に必要な用地買収等に着手します。

3. 海岸事業

1) 皆生海岸保全施設整備事業

【資料編 海－1(日野川)】

両三柳工区において、侵食対策として沖合施設（離岸堤）整備を実施するとともに、富益工区においてサンドリサイクル（砂の循環）による保全対策を促進します。

4. 道路事業

(1) 改築(山陰道)

1) 山陰道鳥取西道路(延長19.3km:部分開通済)

【資料編 道－1(鳥取)】

山陰道鳥取西道路は、災害時等の代替路線の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的としており、平成25年12月、鳥取ICから鳥取西IC間が開通しました。

平成26年度は、吉岡温泉ICから青谷IC間の平成29年度開通を目指し、改良工事、橋梁工事、埋蔵文化財調査を推進します。

(2) 改築(付加車線)

1) 鳥取自動車道

中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取

【資料編 道－2(鳥取)】

国道373号志戸坂峠道路

【資料編 道－3(鳥取)】

鳥取自動車道は、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流などにより速度低下が発生しており、走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置しています。

平成26年度は、改良工事、トンネル工事を推進します。

2) 山陰道 米子道路

【資料編 道－4(倉吉)】

国道9号米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、走行速

度が低下しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、日野川東 IC～米子南 IC間に付加車線を設置します。

平成26年度は、調査・設計、橋梁下部工事を推進します。

(3)交通安全

1)鳥取9号交差点改良等(鳥取大橋東詰交差点改良) 【資料編 道-5(鳥取)】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、導流路の設置及びカラー舗装等の交差点改良を行い、交通事故の削減を図るものです。

平成26年度は工事を推進し、完成を目指します。

2)鳥取9号交差点改良等(宇谷地区歩道整備) 【資料編 道-6(倉吉)】

当該箇所は、沿道に民家が連担し、通学路として利用されているにもかかわらず歩道が不連続の区間であるため、歩行者が安心・安全に通行できる歩行空間の確保を図るものです。

平成26年度は、用地買収を推進します。

3)鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策) 【資料編 道-7(倉吉)】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間である信号交差点が連続する2区間において、交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

平成26年度は、調査設計、工事等を推進します。

4)鳥取9号交通安全対策(岩美簡易パーキング) 【資料編 道-8(鳥取)】

当該箇所は兵庫県境付近に位置しており、付近の国道9号は大型車混入率が高く、追突事故等も多発しています。岩美町新井において、ドライバーが適度に休憩を取ることができる休憩施設として、トイレ、情報コーナーを備えた簡易パーキングを整備するものです。

平成26年度は調査設計、用地買収及び工事を推進します。

5)鳥取53号交差点改良等(市瀬歩道整備) 【資料編 道-9(鳥取)】

当該箇所はバス停付近に歩道がないため、バス利用者は路肩を通行する危険な状況にあるため、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、安全安心な歩行空間の確保を図るものです。

平成26年度は工事を推進し、完成を目指します。

5. 港湾事業

(1) 鳥取港改修事業

1) 鳥取港防波堤整備事業

【資料編 港－1(境)】

鳥取港における既存の港口付近での波のじょう乱による船舶の安全な航行への影響に対応して、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤（第1）の西側への延伸を実施しています。平成25年度までに、防波堤延伸総延長300mの全てのケーソン据付が完了しており、平成26年度は消波無しで暫定断面となっている堤頭部港外側の基礎工、消波ブロックの設置、上部工嵩上げ等を実施します。

(2) 境港改修事業

1) 境港国際物流ターミナル整備事業

【資料編 港－2(境)】

境港における大型貨物船に対応した岸壁、ふ頭用地の恒常的な不足を解消するとともに、併せてふ頭の再編を行うことで在来貨物及び、将来増加する貨物需要（リサイクル貨物、企業の利用拡大等）も含めた効率的な利用を図るため、外港中野地区において、水深12mの国際物流ターミナルの整備を実施しています。平成25年度までに、岸壁前面の泊地（水深12m）の浚渫を完了し、岸壁（水深12m）については地盤改良工、本体工ケーソン製作を一部実施しています。平成26年度は岸壁の基礎工、全延長分の本体工ケーソン製作、据付、裏込工等を実施します。

2) 境港防波堤整備事業

境港内に静穏な水域を確保し、年間を通じて効率的かつ安全な岸壁荷役に資する防波堤整備を実施しています。平成26年度は外港地区の防波堤（2）の延伸に係る基礎工及び改良（消波ブロック据付）等を実施します。

●国民の安全・安心の確保

○防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

千代川の河川整備は、戦後最大規模(S54.10)の洪水を安全に流すことを目標として整備を進めています。当該地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

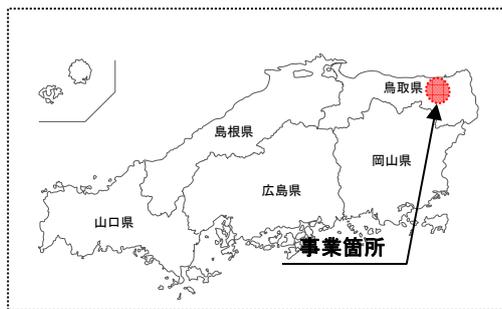
平成26年度は、洪水に対する安全度を向上させるため佐貫地区の河川内に堆積した土砂の撤去並びに、八日市地区の旧堤防の撤去を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市河原町徳吉地区

3. 平成26年度 予定事業内容

千代川徳吉地区において、河道掘削40,000m³を実施します。



19k000付近

土砂の撤去



20k800付近

旧堤防の撤去

4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の昭和54年10月洪水が再び発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

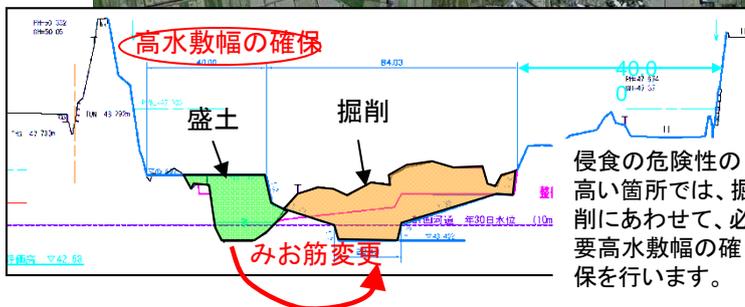
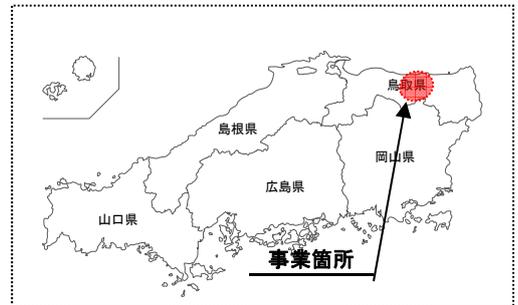
- ・天神川支川小鴨川の中流部は、樹木繁茂や土砂堆積による河道の断面不足により、流下能力不足を生じており、洪水による氾濫により、西倉吉工業団地を始めとした多くの資産や家屋が浸水する恐れがあります。また、急流河川であるがゆえ、洪水時の流速が早く、堤防の侵食の危険性が高く、浸食対策が必要となっています。
- ・平成26年度は引き続き、河道掘削及び侵食対策である護岸工を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県倉吉市小鴨地先

3. 平成26年度 予定事業内容

河道掘削 V=20,000m³、護岸工L=150m



4. 期待される整備効果

当事業の完了により、戦後最大洪水である昭和34年伊勢湾台風洪水と同規模の洪水が再び発生したとしても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

てんじんがわ

天神川一般河川改修事業

しゅうき
(秋喜地区)

事業費445百万円

河-3(倉吉)

※天神川水系全体

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

- ・天神川水系は急流河川であることから、洪水時の堤防侵食の危険性が高く、過去には河岸侵食等の災害が多数発生しています。当箇所は、西倉吉工業地域を始めとした資産・人口の集中する地域を背後地とし、堤防決壊に対する安全度確保の観点から浸食対策が必要となっています。
- ・平成26年度は、侵食対策である護岸工を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県倉吉市秋喜地先

3. 平成26年度 予定事業内容

高水護岸工L=240m



管内の過去の災害においても堤防法面が侵食される事例頻発



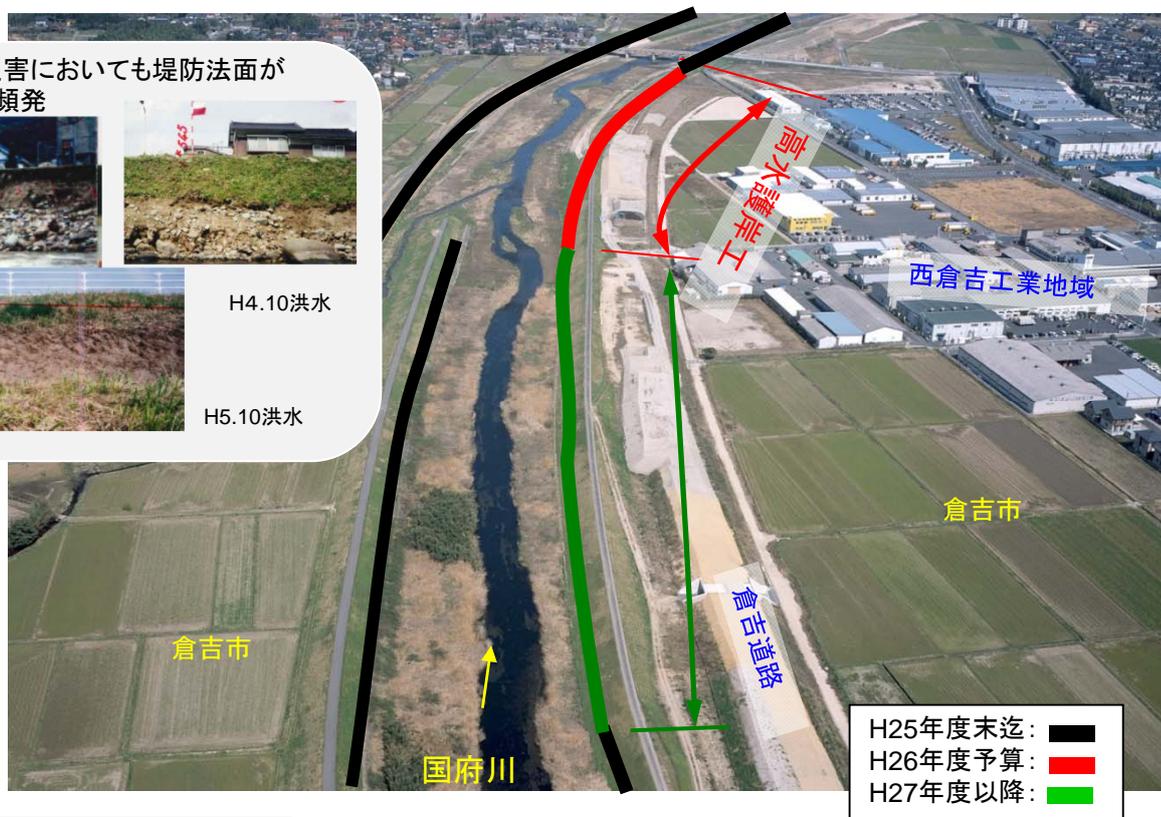
H10.10洪水



H4.10洪水



H5.10洪水



H25年度末迄: 黒
H26年度予算: 赤
H27年度以降: 緑

4. 期待される整備効果

当事業の完了により、戦後最大洪水である昭和34年伊勢湾台風洪水と同規模の洪水が再び発生したとしても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災

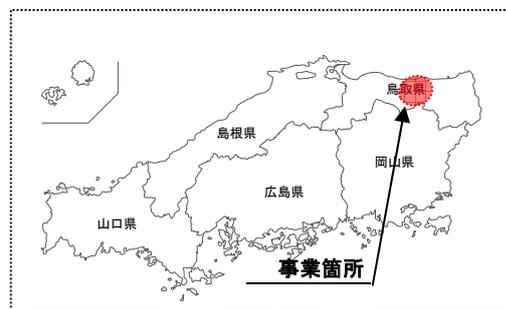
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

- ・天神川支川国府川の中流部である当箇所は、河道断面が確保されておらず流下能力が不足しており、洪水による氾濫により、避難場所に指定される教育施設や鳥取県の農業を担う主要施設等の多くの資産が、浸水する恐れがあり、築堤や横断工作物の撤去を含む河道掘削等の対策が必要となっております。
- ・平成26年度は、築堤等に必要となる用地補償を実施します。

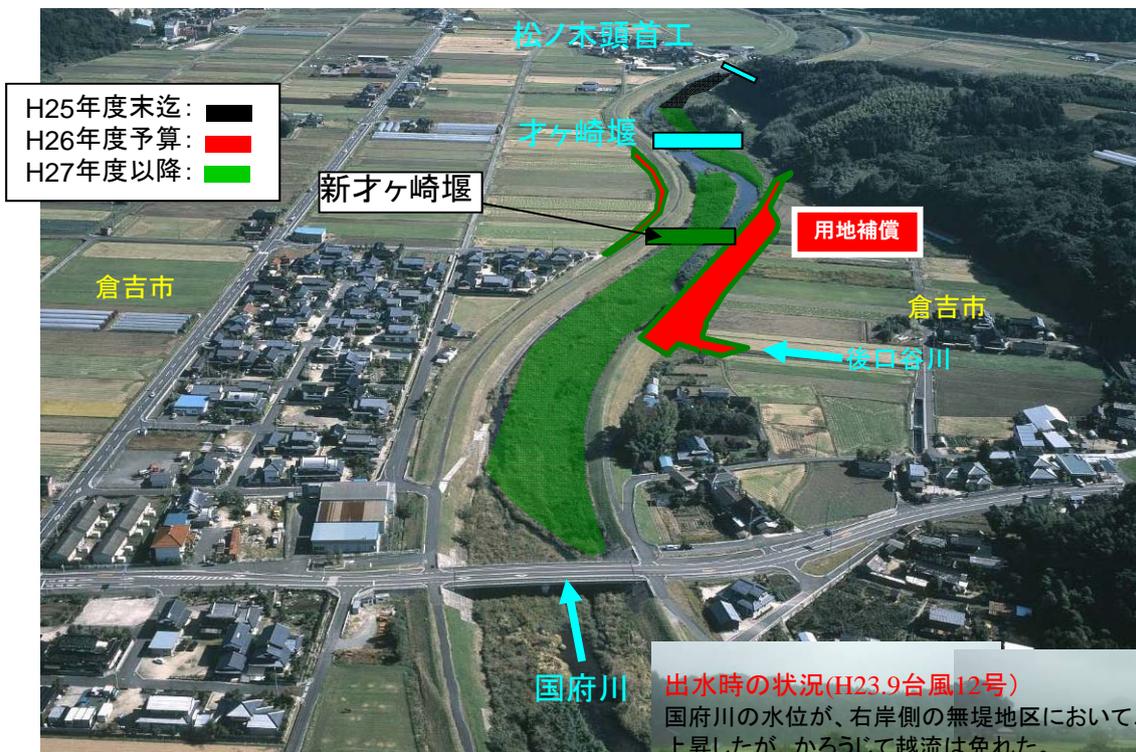
2. 事業箇所

鳥取県倉吉市米積地先



3. 平成26年度 予定事業内容

用地補償N=1式



H25年度末迄: 黒
H26年度予算: 赤
H27年度以降: 緑

出水時の状況(H23.9台風12号)
国府川の水位が、右岸側の無堤地区において、天端高近くまで上昇したが、かろうじて越流は免れた。



4. 期待される整備効果

当事業の完了により、戦後最大洪水である昭和34年伊勢湾台風洪水と同規模の洪水が再び発生したとしても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

日野川一般河川改修事業

よなご あおき
(米子市青木地区)

事業費250百万円
※日野川水系全体

河-5(日野川)

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

日野川支川法勝寺川は全川にわたって流下能力が低く、下流部の破堤時には米子市街地(鳥取県内人口第2位)に甚大な被害が想定されます。

支川小松谷川合流部では法勝寺川の影響等による内水被害が過去10年の内に4回発生しており、流下能力向上および内水被害軽減のための緊急的な対策が必要です。

このため、流下能力確保を図るための河道掘削、背割堤の整備等を実施します。

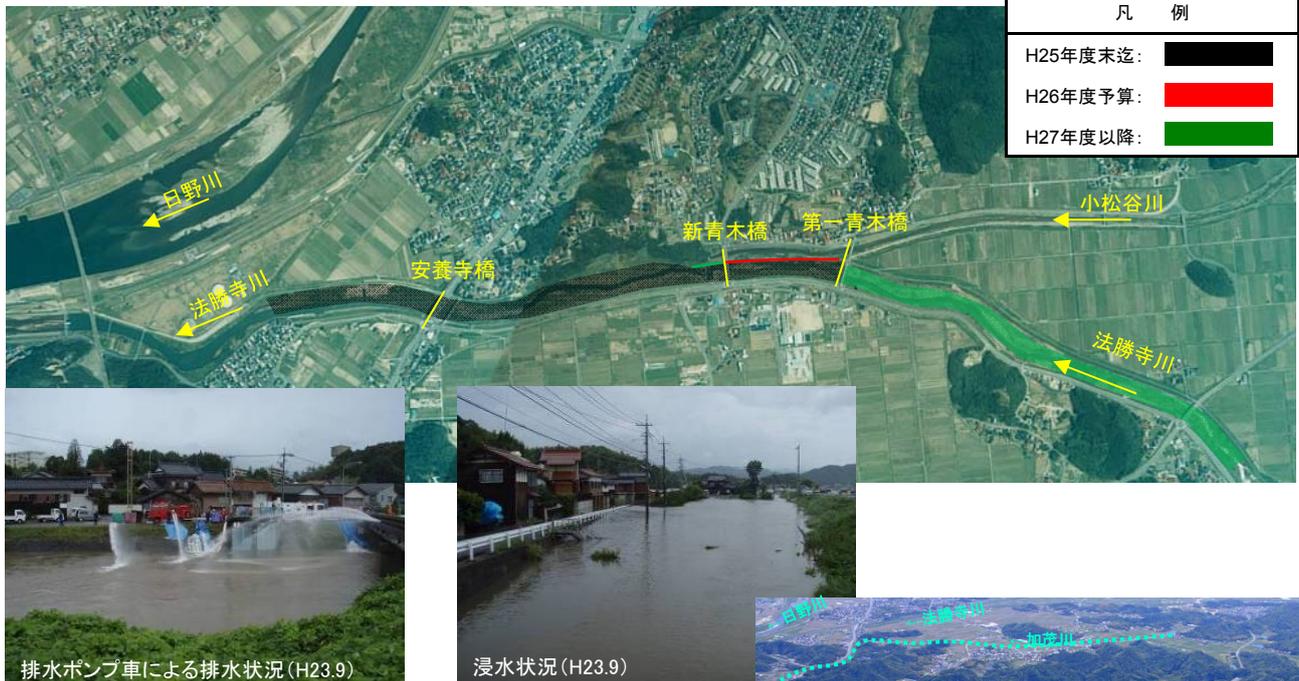
2. 事業箇所

鳥取県米子市青木地区



3. 平成26年度 予定事業内容

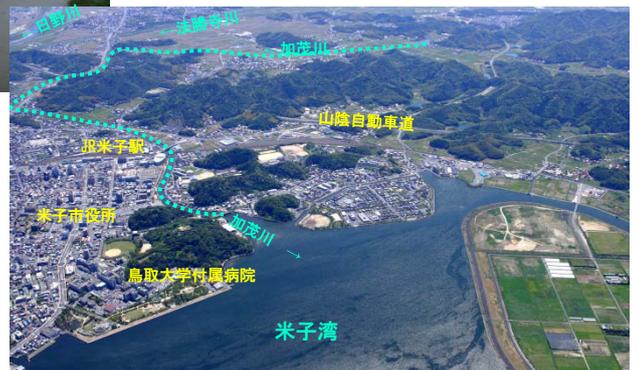
法勝寺川青木地区の背割堤護岸工 L=200m等を実施します。



排水ポンプ車による排水状況 (H23.9)



浸水状況 (H23.9)



4. 期待される整備効果

昭和34年9月の戦後最大洪水が再び発生した場合においても、米子市街地への浸水被害の軽減を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

ひいかわ
斐伊川一般河川改修事業
 さかのみなと
(境港地区)

事業費4,007百万円
 ※斐伊川水系全体

河-6(出雲)

●国民の安全・安心の確保
 ○防災・減災

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

境港地区は、宅地の地盤高が低く中海の湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害(平成14年、平成15年、平成16年)を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

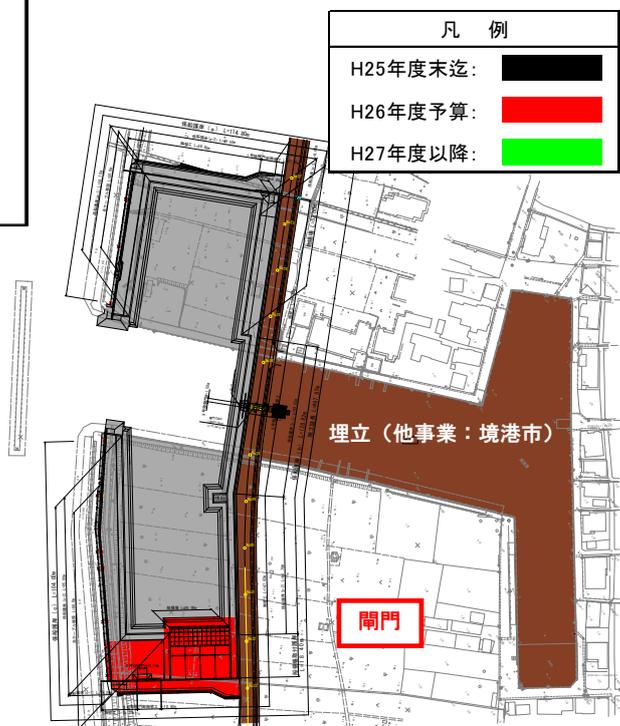
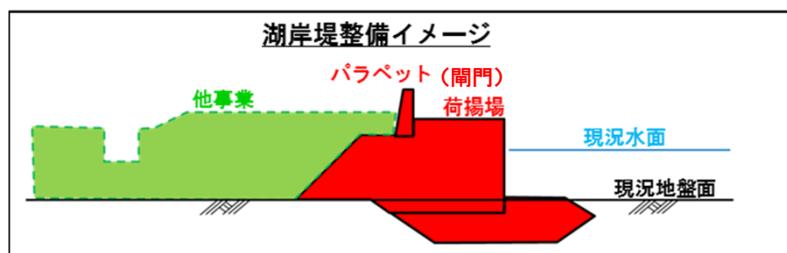
2. 事業箇所

鳥取県境港市境港地区



3. 平成26年度 予定事業内容

中海境港地区において、閘門等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮(既往最高水位)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

●国民の安全・安心の確保
 ○地域活性化と豊かな暮らしの実現

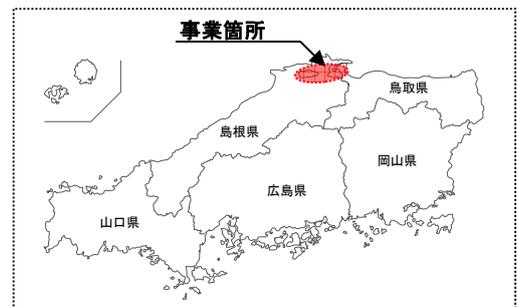
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～ 島根県出雲市小境町地区



3. 平成26年度 予定事業内容

中海：覆砂 A=220千m²

宍道湖：浅場造成 L=260m



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

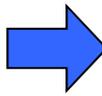
■老朽化が著しい河川管理施設の改良措置

施設の改良

○樋門の操作が手動式の開閉装置で行うため、操作時に多大な労力を必要とする設備です。近年、操作員の高齢化が問題となっているため、緊急時に確実な操作を行うために電動式の開閉装置に改良します。



手動式の開閉装置



電動式の開閉装置

開閉装置改良樋門(7基)位置図



期待される整備効果

河川管理施設の施設性能を改善します。

大山山系（天神川水系）砂防事業

砂-1（倉吉）

み さ さ おおたに
（三朝町大谷地区）

事業費431.5百万円（※天神川水系全体）

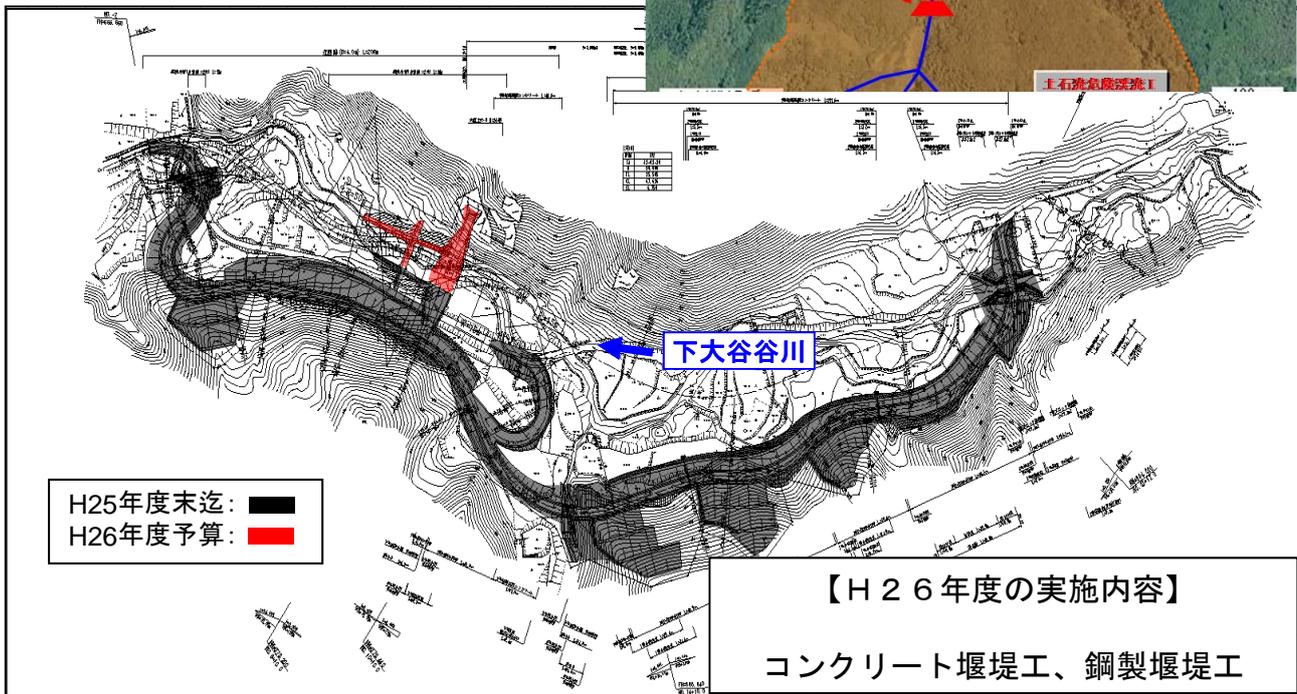
H26年度完成予定

【事業概要】

大谷砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川下大谷谷川に計画した砂防堰堤（H=12.5m, L=59.0m）です。

当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成24年度から事業に着手しています。

平成26年度の完成を予定しており、平成26年度は堰堤本体右岸部及び鋼製スリットを実施します。



期待される整備効果

下大谷谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の大谷地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業

砂-2(倉吉)

み さ さ よ し だ
(三朝町吉田地区)

事業費431.5百万円（※天神川水系全体）

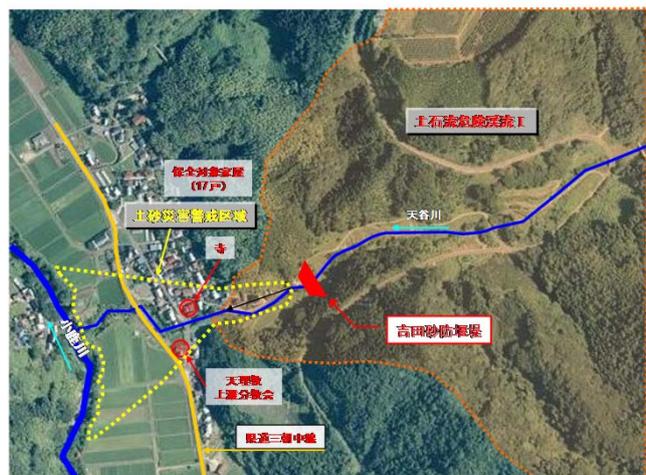
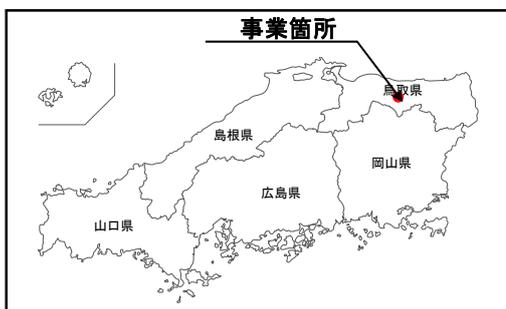
事業推進

【事業概要】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤(H=12.5m, L=81.5m)です。

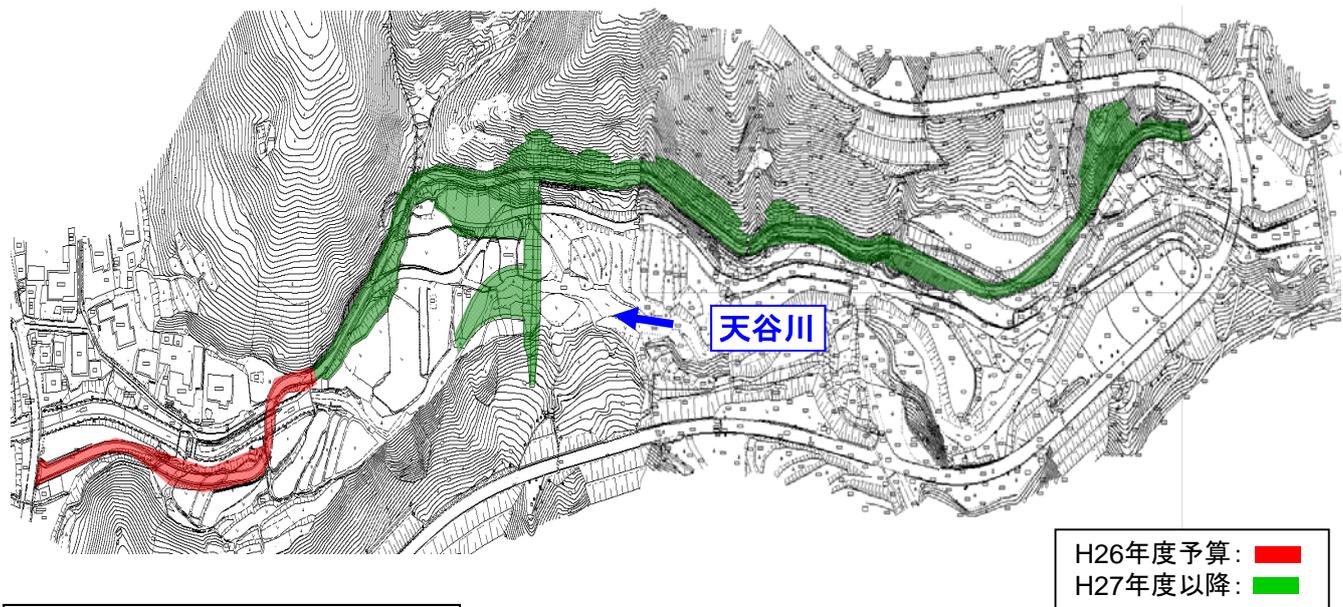
周辺地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、三朝温泉をはじめとする下流域を保全するために平成25年度から事業に着手しています。

平成26年度は**管理用道路及び付替道路に着手**します。



【H26年度の実施内容】

管理用道路工、付替道路工



期待される整備効果

天谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の吉田地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業

砂-3（倉吉）

（倉吉市野添地区）

事業費431.5百万円（※天神川水系全体）

事業推進

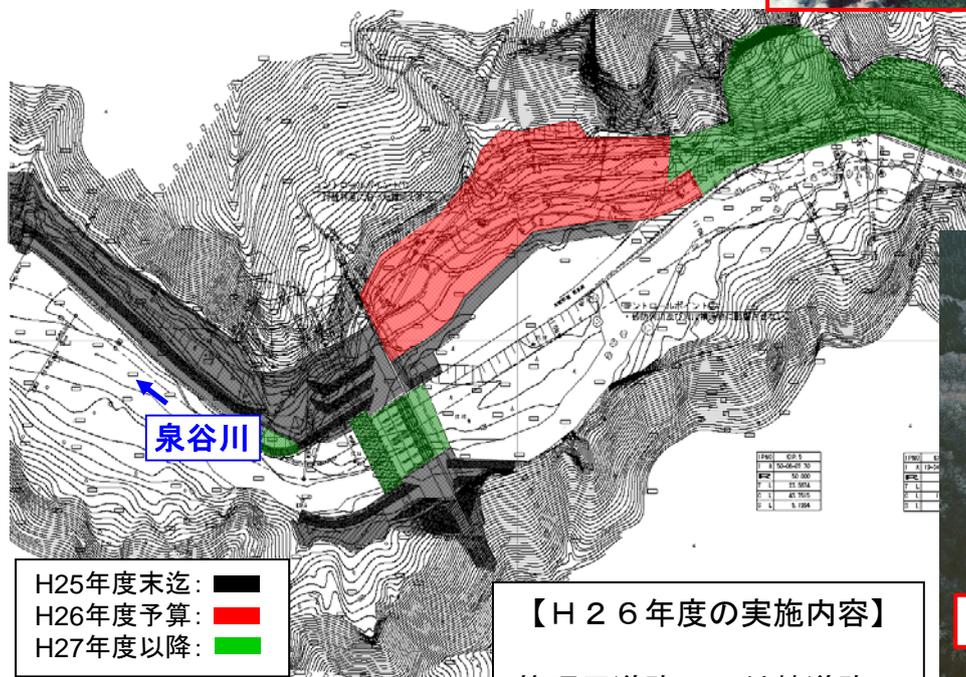
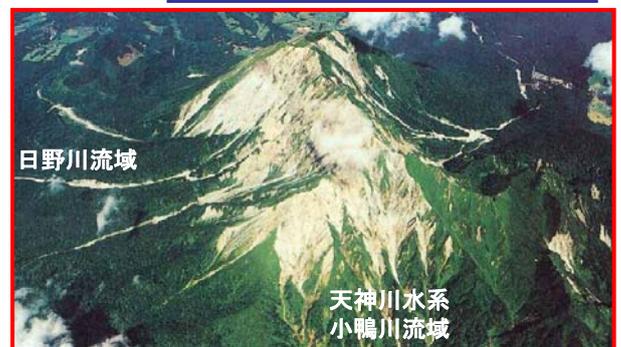
【事業概要】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤(H=14.5m、L=74.0m)です。

泉谷川は、土砂生産が盛んな大山の重荒廃地域であるため、優先的に整備を進めており、平成21年度から事業に着手しています。

平成26年度は**管理用道路及び付替道路を実施**します。

荒廃の著しい大山源頭部の状況



期待される整備効果

泉谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の野添地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業

砂-4（倉吉）

みさき きじやま
（三朝町木地山地区）

事業費431.5百万円（※天神川水系全体）

事業推進

【事業概要】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤(H=11.5m,L=61.0m)です。

当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成26年度より事業に着手します。

平成26年度は砂防指定及び用地買収に着手します。



期待される整備効果

【H26年度の実施内容】

砂防指定、用地買収

能谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の木地山地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中国地方随一の高峰である大山は、解体期を迎え源頭部の崩壊が著しく、山麓斜面には脆弱な火山堆積物や風化花崗岩が広く分布しており、土砂流出による災害発生の危険性が高い状況にあります。

大山山系直轄火山砂防事業は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、下流の人家等を土石流の被害から保全することを目的として、砂防えん堤等の整備を実施しています。

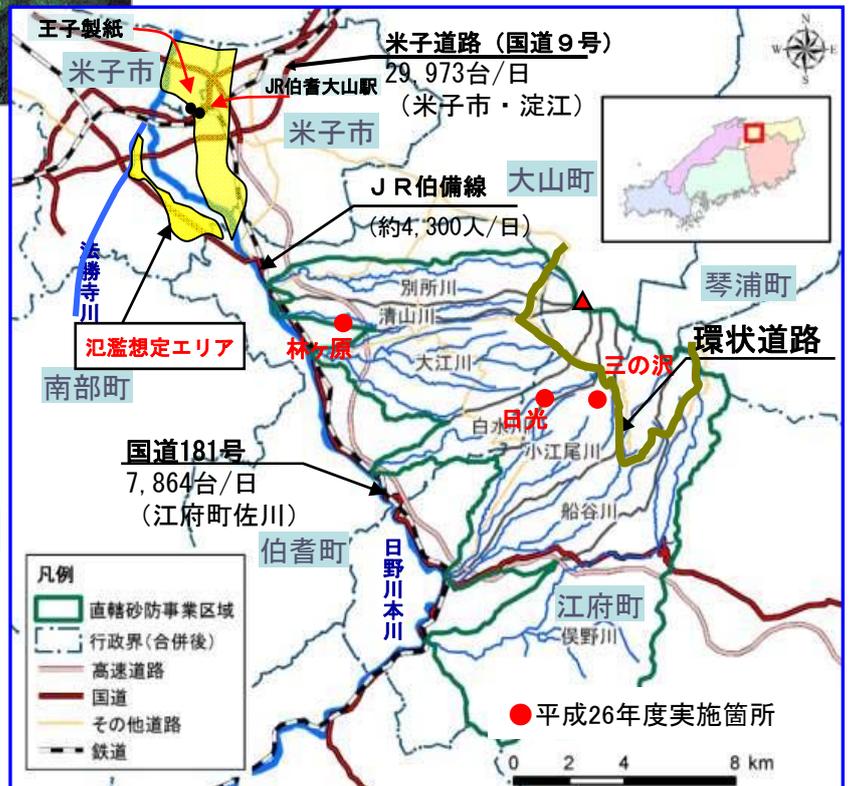
大山の源頭部は崩壊地が広がっているため、
たびたび土砂流出を生じている。



大山環状道路への土砂流出状況



小江尾川から日野川への土砂流出状況



2. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、米子市街において、土砂を起因とする洪水はん濫を防止・軽減するとともに再度災害の防止を図ります。

大山山系(日野川)直轄火山砂防事業

さんのさわ

(三の沢砂防堰堤)

砂-5(日野川①)

- ・三の沢砂防堰堤を設置する小江尾川は、平均河床勾配 1/7で、上流部は荒廃の著しい三の沢を抱える河川
- ・平成23年3月に工事着手
平成26年3月までに、堰堤本体は約9割完成
- ・平成26年度は、引き続き堰堤本体工の推進 及び 管理用道路の一部を実施

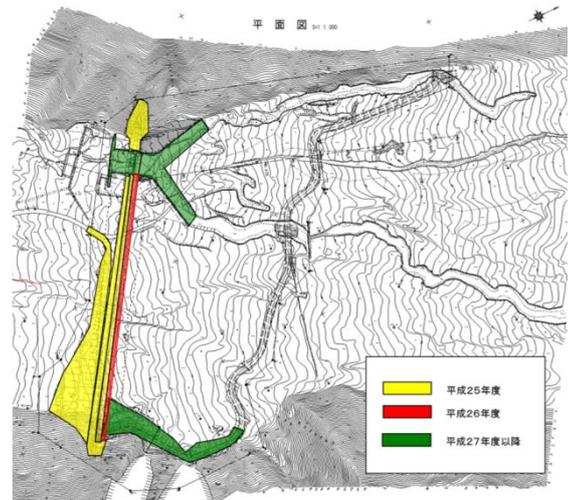
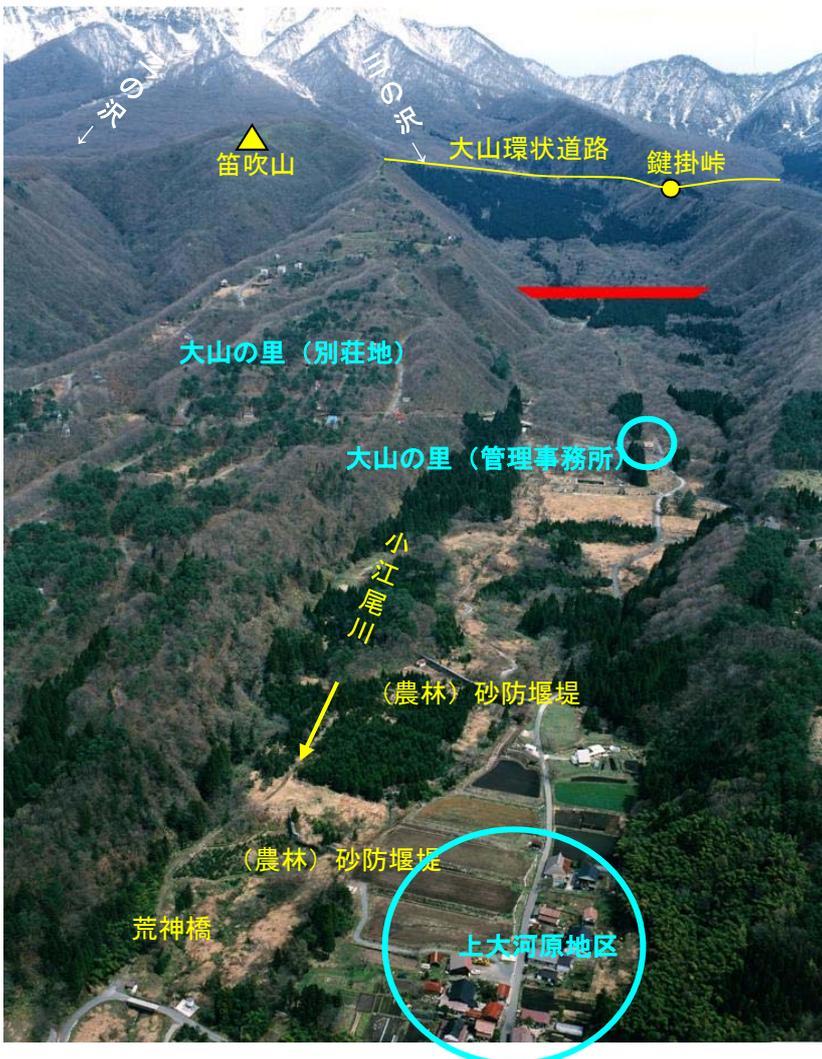
三の沢砂防堰堤

整備土砂量 = 119,600m³

H=11.5m

L=304m

鋼製スリット型砂防堰堤



大山山系(日野川)直轄火山砂防事業

はやしがはら

(林ヶ原砂防堰堤)

砂-5(日野川②)

- ・林ヶ原砂防堰堤を設置する清山川は、平均河床勾配1/7で、上流部には荒廃の進む大山山麓を抱える河川
- ・平成24年度に用地買収完了し、平成25年度より堰堤本体工事に着手
- ・平成26年度は、引き続き堰堤本体工事を推進

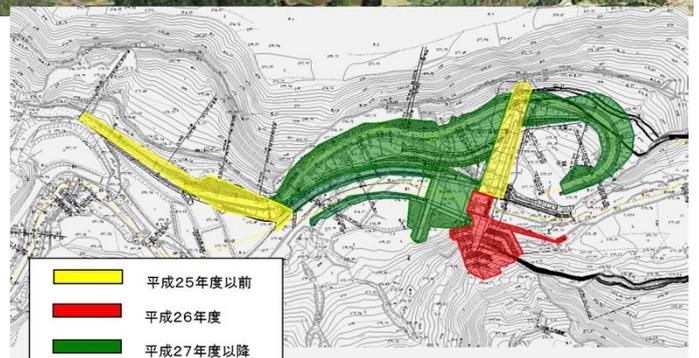
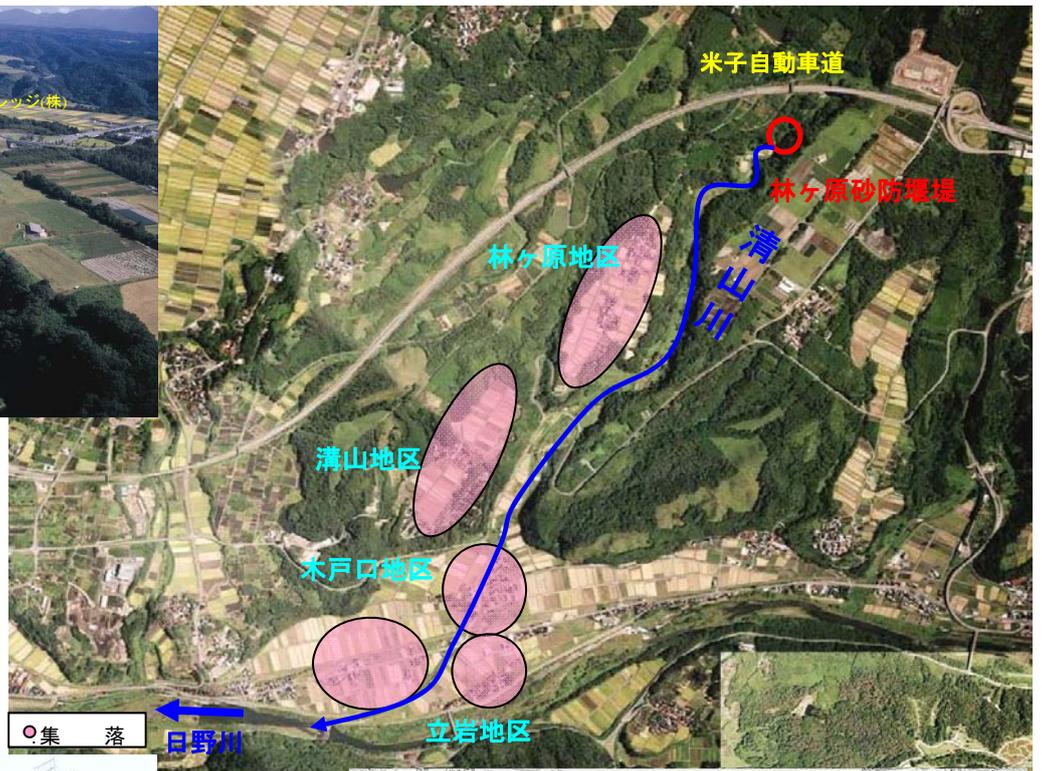
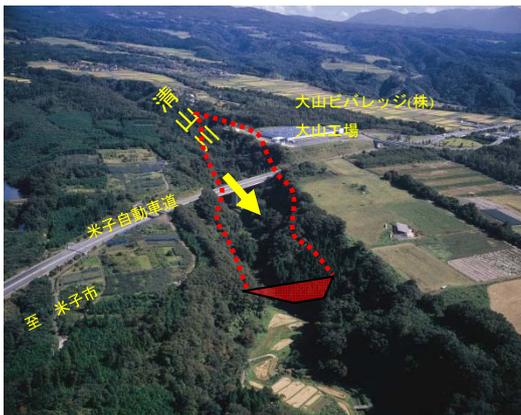
林ヶ原砂防堰堤

整備土砂量 = 136,300m³

H=14.5m

L=79m

鋼製スリット型砂防堰堤



大山山系(日野川)直轄火山砂防事業

にっこう

(日光砂防堰堤)

砂-5(日野川③)

- ・日光砂防堰堤を設置する白水川は、平均河床勾配1/7で、上流部は荒廃の著しい二の沢を抱える河川
- ・平成25年度までに詳細設計及び用地測量が完了
- ・平成26年度より、用地買収等に着手

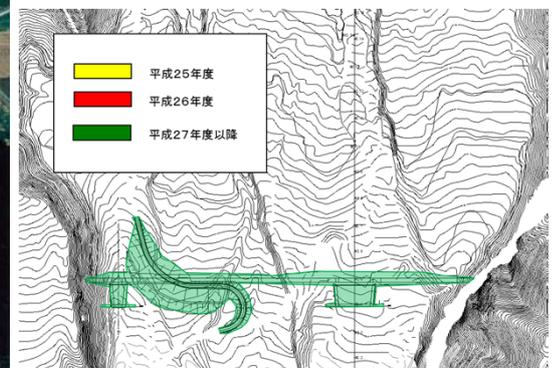
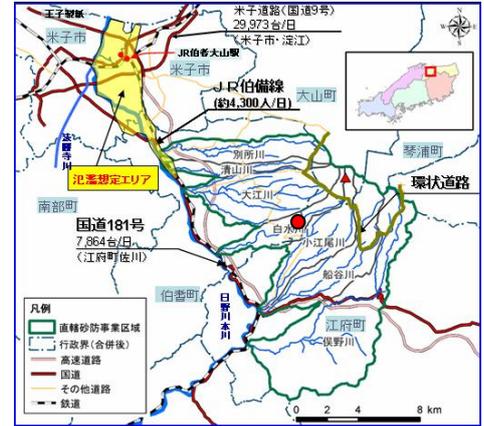
日光砂防堰堤

整備土砂量 = 151,000m³

H=11.4m

L=359m

鋼製スリット型砂防堰堤



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

皆生海岸は、「かなな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには家屋や商業店が多数進出し人口も増加していることから、砂浜を保全するために沖合施設の設置や養浜を実施しています。

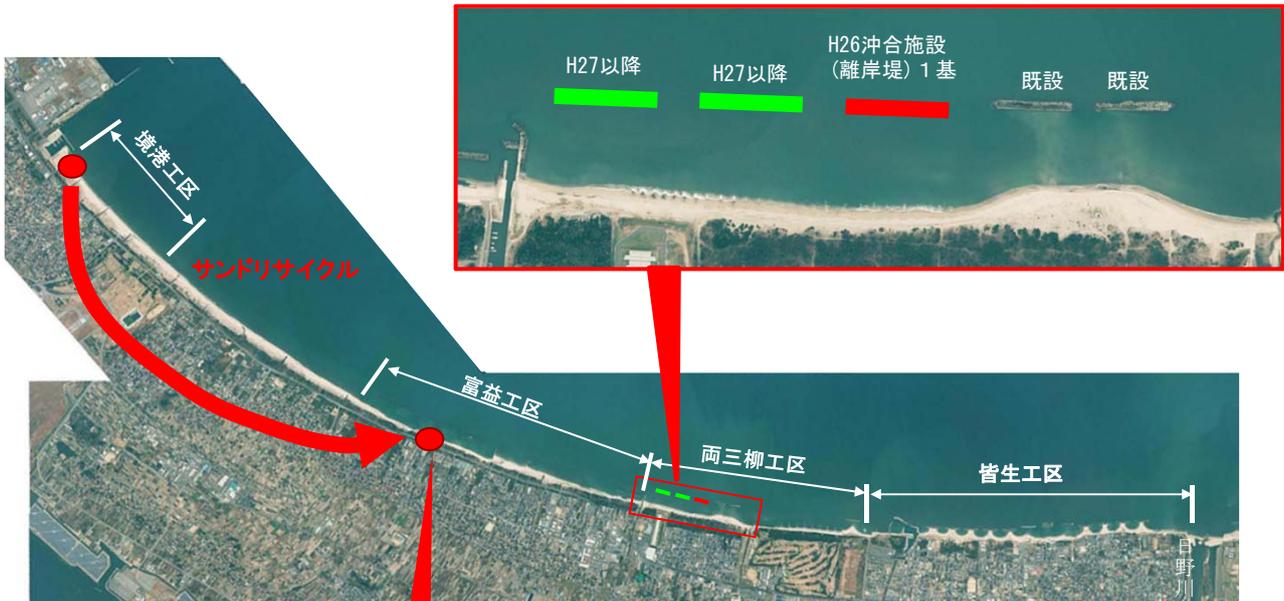
2. 事業箇所

鳥取県米子市～境港市



3. 平成26年度 予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、両三柳地区において沖合施設(離岸堤)1基を設置します。また、富益地区において砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

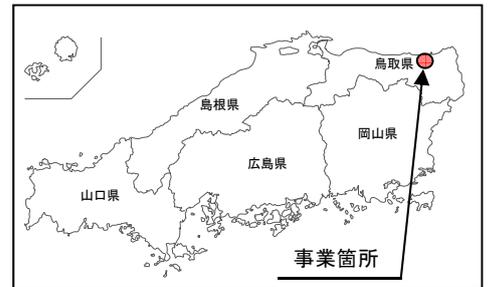
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷



3. 平成26年度 予定事業内容

吉岡温泉IC～青谷IC間の平成29年度の開通に向け、改良工事、橋梁工事、埋蔵文化財調査等を推進します。



※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査が平成27年度迄に完了する場合



写真① 改良工事(常松地区)



写真② 橋梁下部工事(金沢地区)

4. 期待される整備効果

●所要時間の短縮

鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



※山陰道未整備 H9交通センサス旅行速度で算出
※山陰道整備時 山陰道V=70km/h
その他はH22交通センサス旅行速度で算出

●災害時等の代替路線の確保

国道9号では、事故や災害等により通行止めが頻発しています。鳥取西道路の整備により、通行止めの影響を回避でき、安心して目的地へ向かうことができます。



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中国横断自動車道姫路鳥取線では、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

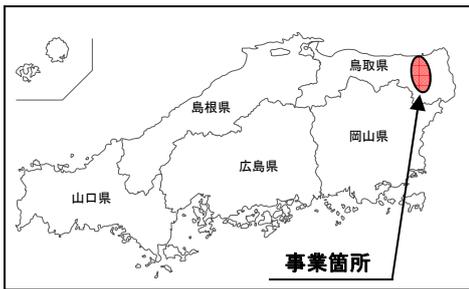
2. 事業箇所

鳥取県八頭郡智頭町市瀬～鳥取市本高(智頭IC～鳥取IC)

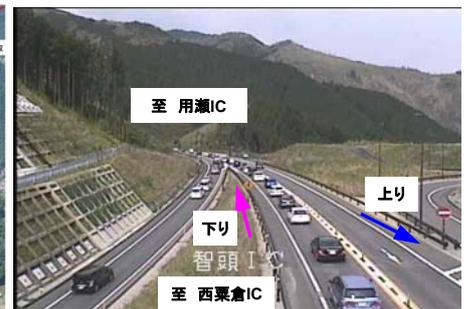
3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度は、道路改良、トンネル工事を実施します。

位置図

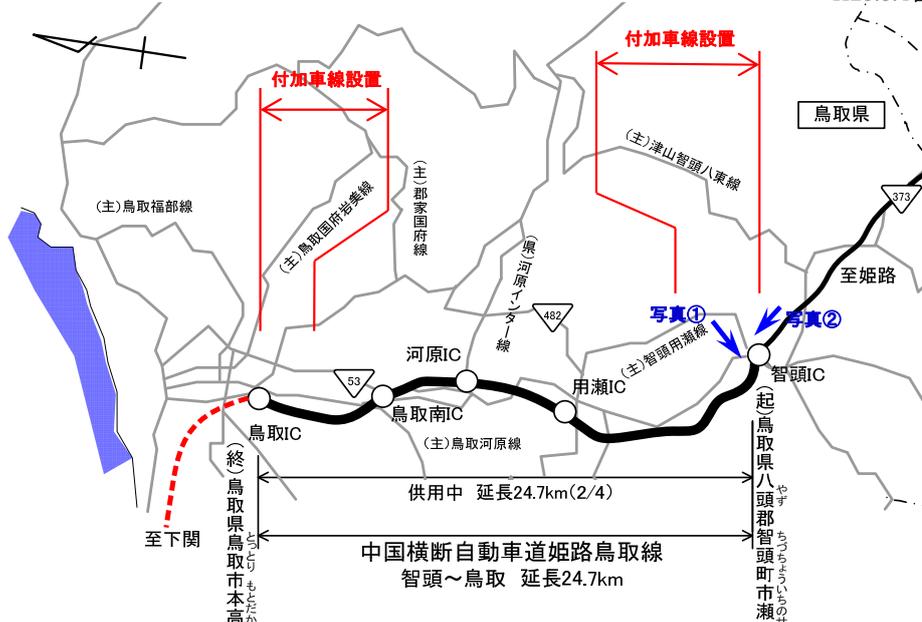


現況写真



写真① 智頭IC付近

写真② H25.5.4智頭IC下り線ONランプ



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

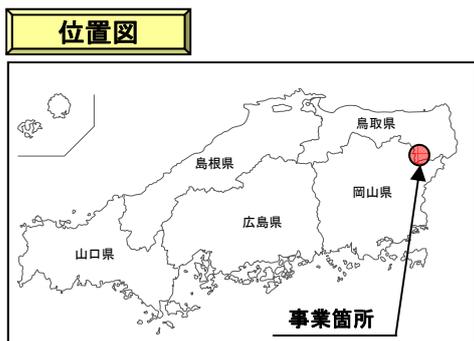
一般国道373号志戸坂峠道路では、トンネルや上り勾配の連続により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

岡山県英田郡西粟倉村影石～鳥取県八頭郡智頭町市瀬

3. 平成26年度予定事業内容

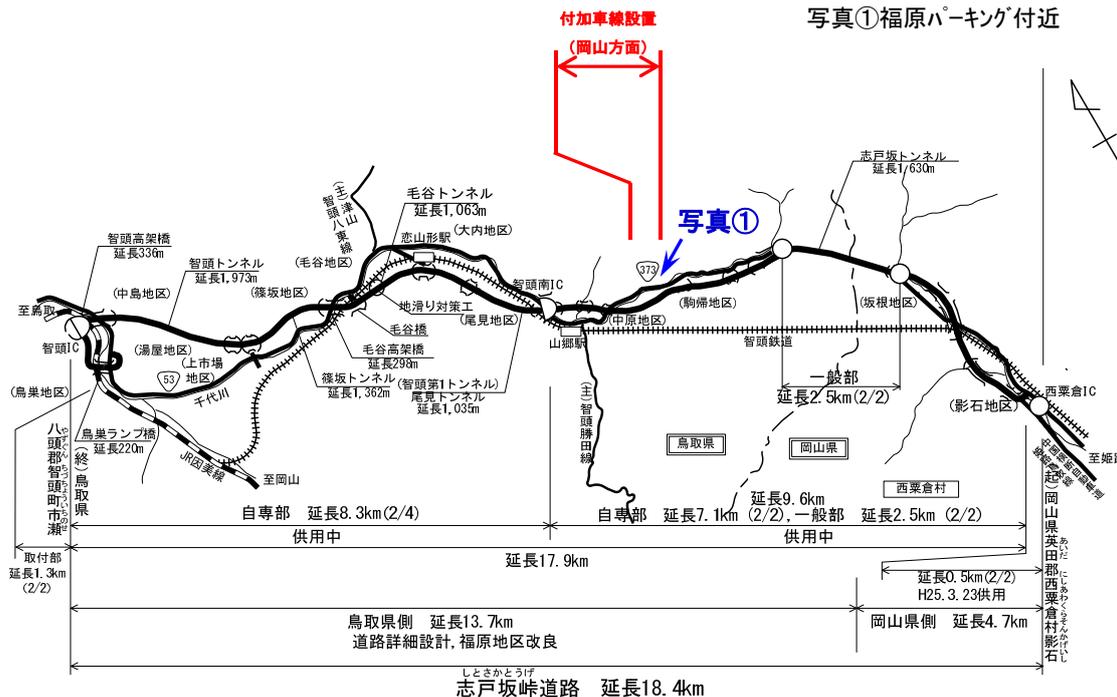
平成26年度は、道路改良、舗装工事を実施します。



現況写真 (Current Photo)



写真①福原パーキング付近



●交通・物流ネットワーク等の都市インフラ整備
○円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

一般国道9号米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

よなご かや むなかた
鳥取県米子市蚊屋～米子市宗像
(日野川東IC～米子南IC)

位置図

事業箇所



3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度は、調査・設計、橋梁下部工事を実施します。



期待される効果

●『主要渋滞箇所の緩和・解消』

鳥取県道路交通渋滞対策部会で抽出された主要渋滞箇所(米子道路(日野川東～米子西間)のうち日野川東～米子南間の緩和・解消が期待されます。



①米子南IC上り合流部の状況



②日野川東IC下り合流部の状況

完成予定

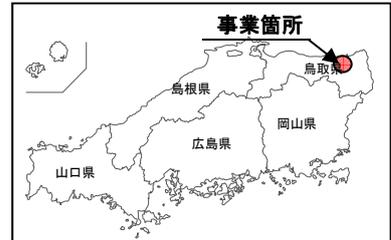
1. 事業の必要性及び概要

当該交差点では、本線上や流入部において、流入車両に起因する追突事故が発生しているため、導流路の設置、カラー舗装等の交差点改良を行い、交通事故の削減を図ります。

2. 事業箇所

とっとり あきさと
鳥取県鳥取市秋里

位置図



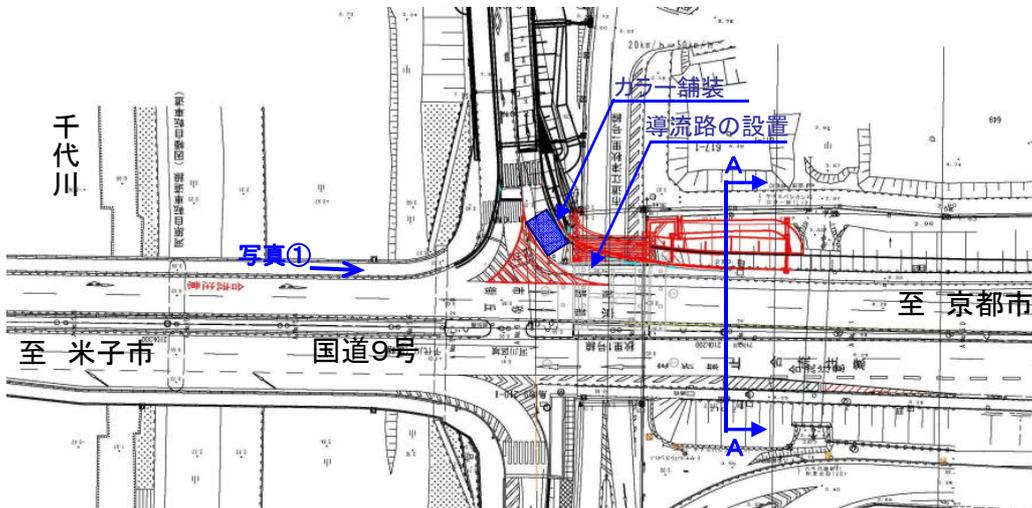
現況写真



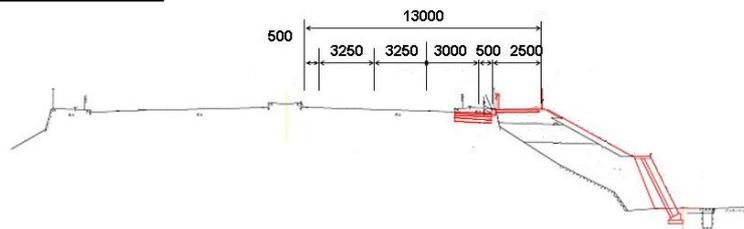
3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度の完成を目指し、工事を推進します。

計画平面図



計画横断面図(A-A断面)



鳥取9号交差点改良等 (うたに宇谷地区歩道整備)

道-6(倉吉)

事業費48百万円

完成予定

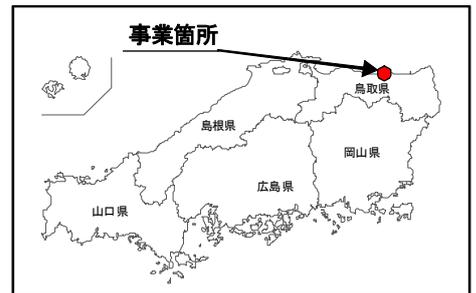
1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、沿道に民家が連担し地域の生活道路となっています。また、泊小学校や北浜中学校のバス利用の通学路として利用されていますが、歩道がなく狭い路肩を通行する区間や歩道が狭い区間があり、危険な状況となっています。

このため、歩道の整備を行い、学童等の歩行者が安心・安全に通行できる歩行空間を確保します。

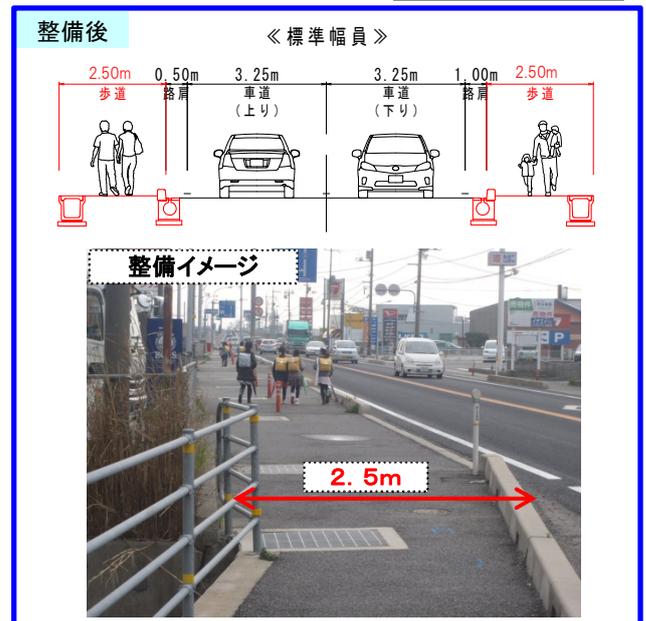
2. 事業箇所

とうはく ゆりはまちょう うたに
鳥取県東伯郡湯梨浜町宇谷



3. 平成26年度 予定事業内容

平成26年度の完成に向け、用地買収、工事を推進します。



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策)

道-7(倉吉)

事業費 501百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間であるため、スピード超過しやすい区間となっており、東方面、西方面いずれの交通も、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

2. 事業箇所

鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬、北栄町国坂～松神

3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度は、湯梨浜・北栄地区の調査設計、工事等を推進します。

位置図



現況写真



写真① 長瀬浜入口交差点と長瀬新川入口交差点



期待される整備効果

交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図ります。

鳥取9号交通安全事業

道-8 (鳥取)

(岩美簡易パーキング整備)

※事業費は交安II種のため、予算総括表には計上されていない。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所付近の国道9号は大型車混入率が高く、また、前方不注意が原因による追突事故が発生するなど、死傷事故率が高い区間となっており、ドライバーが適度に休憩できる施設が必要です。

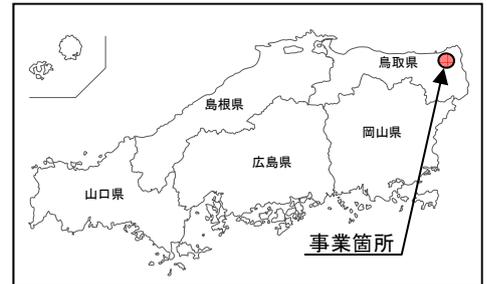
本事業は、ドライバーが適度に休憩を取ることができる休憩施設として、駐車場、トイレ、情報コーナーを備えた簡易パーキングを整備するものです。

2. 事業箇所

鳥取県岩美郡岩美町新井

3. 平成26年度予定事業内容

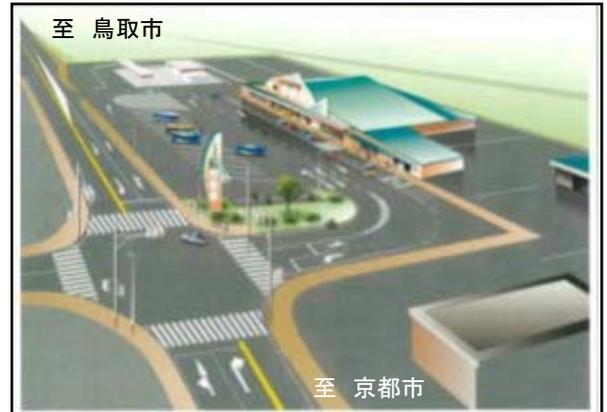
平成26年度は、調査設計、用地買収及び工事を推進します。



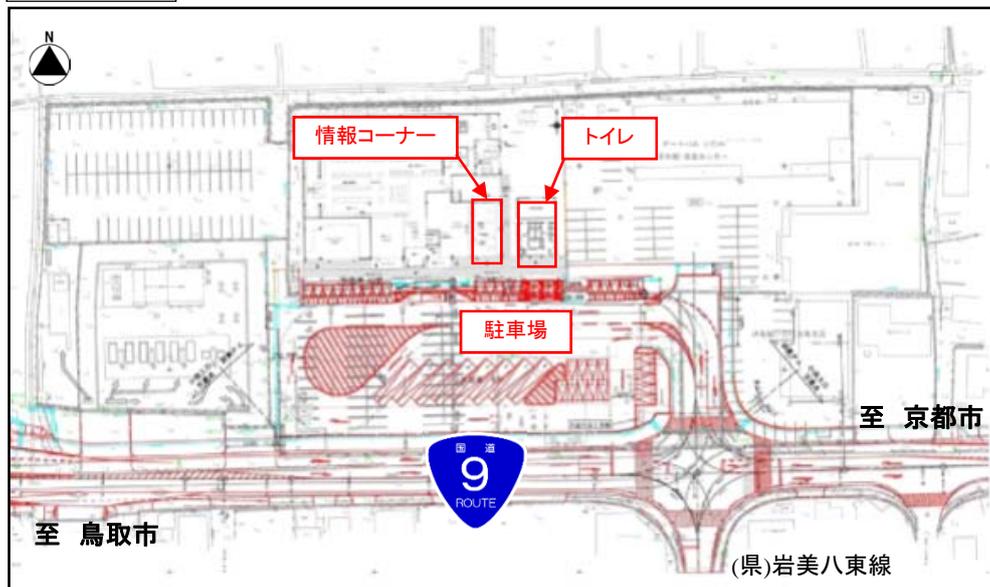
位置図



完成イメージ図



平面図



鳥取53号交差点改良等 いちのせ (市瀬歩道整備)

道-9(鳥取)

事業費 45百万円

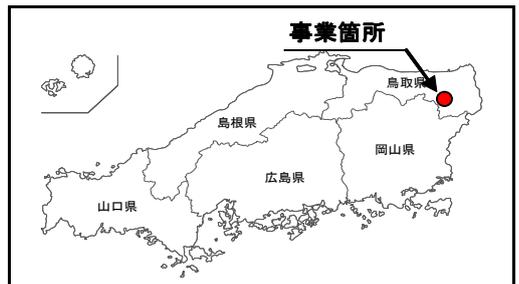
完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、ちづ智頭小学校の通学路として利用され、バス停も設置されていますが、歩道が無く、歩行者は路肩を通行する危険な状況のため、歩道の整備を行い、通学児童やバス利用者等が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

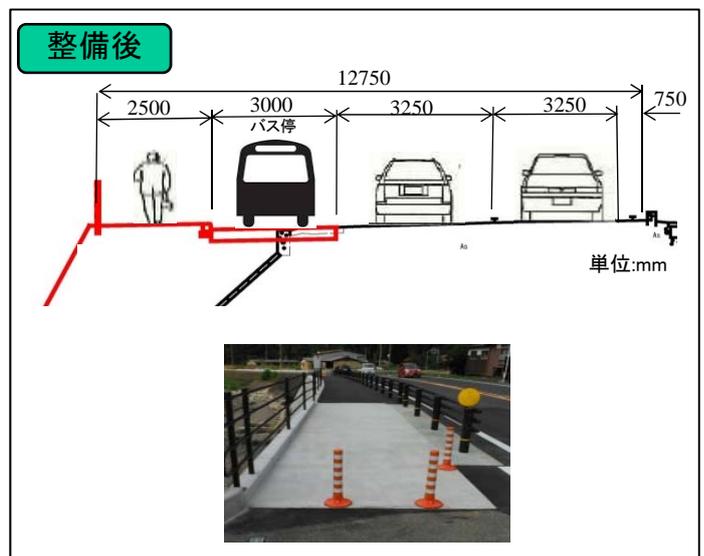
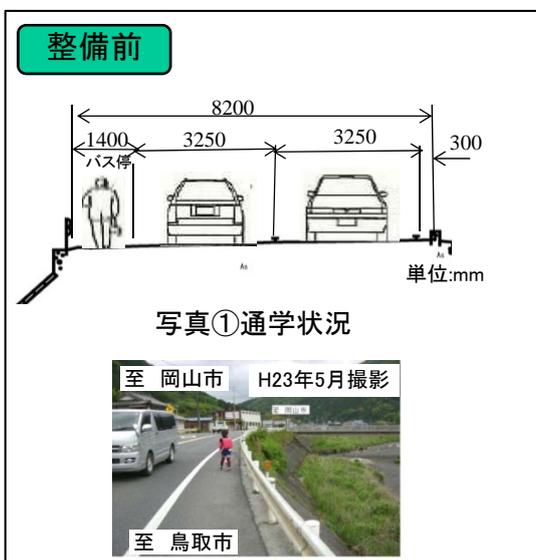
2. 事業箇所

とっとり やす ちづちよう いちのせ
 鳥取県八頭郡智頭町市瀬



3. 平成26年度予定事業内容

平成26年度の完成を目指し、工事を推進します。



1. 事業の必要性及び概要

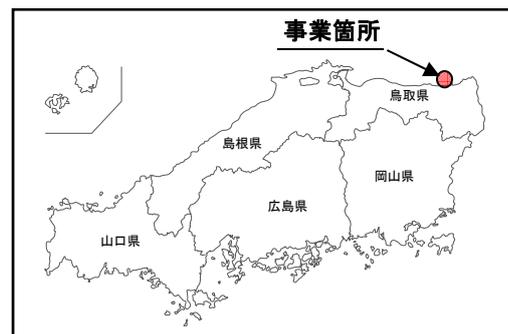
事業推進

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路では、冬季風浪や台風等により港口付近で大小の波が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、西浜航路を新設するとともに、港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市



3. 平成26年度 予定事業内容

防波堤(第1)(西)の消波工事等、防波堤(第3)(撤去)のケーソン据付工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

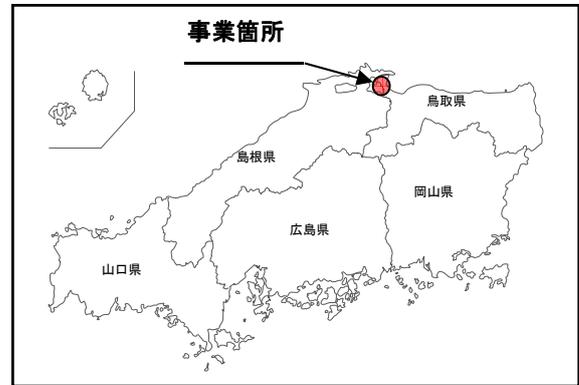
山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えています。また、平成21年には韓国、ロシアとを結ぶ環日本海国際定期貨客船が就航するなど、日本海沿岸地域を代表する国際物流拠点として更なる役割を担うことが期待されています。

しかし、貨物量の増加や船舶の大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、がいこうなかの非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

このため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備するとともに、既存ふ頭の再編を行うことで、境港全体の機能強化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市



3. 平成26年度 予定事業内容

岸壁(水深12m)のケーソン据付工事、裏込工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の国際競争力強化、雇用の確保等に寄与します。